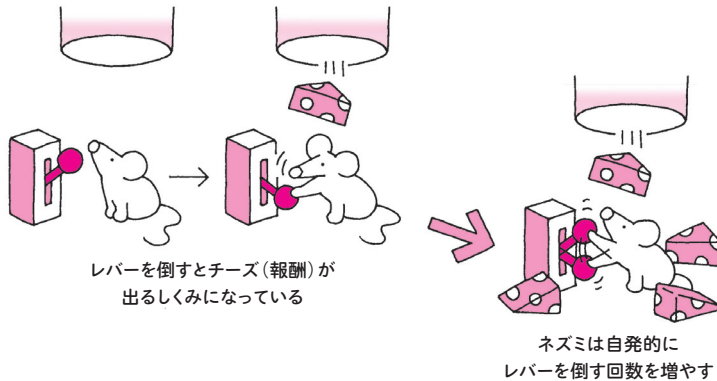




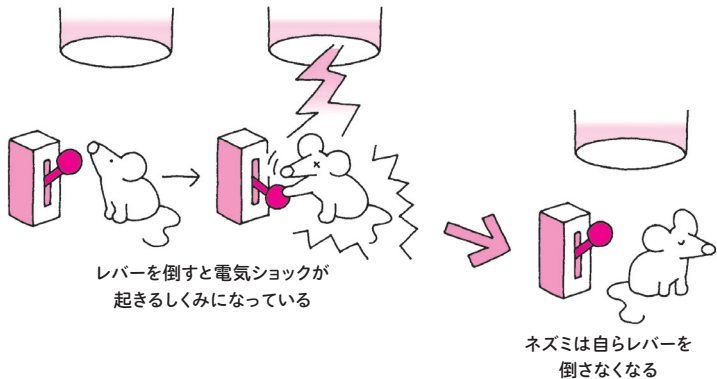
オペラント条件づけ

- 意味** 報酬や懲罰に対して、自発的に行動するよう学習すること
- 文献** 『有機体の行動』(スキナー)
- メモ** スキナーのオペラント条件づけの実験は、ワトソンやゾーンダイクの実験(P073・P070)を発展させたものといえる

スキナー
P026



オペラント条件づけ



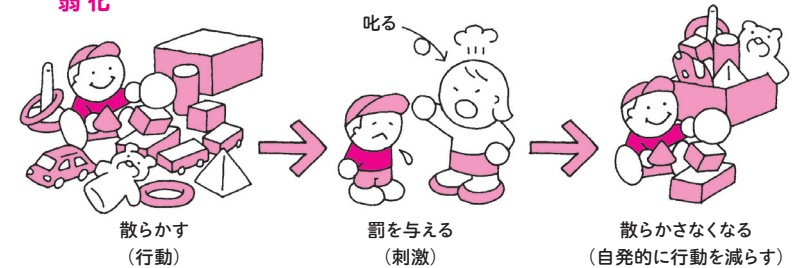
行動主義(P072)の心理学者であるスキナーもまた、意識ではなく、客観的に観察できる**行動のみ**を研究対象にしました。彼はネズミを使った実験で、動物に**報酬や懲罰**を与えると、動物は行動を自発的に変化させることを突き止めました。この**報酬や懲罰による自発的な行動の変化をオペラント条件づけ**といいます。 ※オペラントはオペレイト(操作する)の派生語

古典的条件づけ(P069)は、先行する刺激に行動が左右されましたが、**オペラント条件づけ**は、報酬や懲罰といった、行動の結果としての刺激に左右されます。報酬や懲罰で**行動を増やす**ことを**強化**、報酬や懲罰で**行動を減らす**ことを**弱化**といいます。

強化



弱化



条件反射(P068)のような生理的反応は、性格などの**内的な要因**ではなく、ベルの音などの**外的な要因**が引き起こします。人の**自発的な行動**もまた、性格などの**内的要因**ではなく、報酬や懲罰といった**外的要因**が引き起こすのだとスキナーは結論づけました。

